



日本高血圧協会

会報13号 平成25年8月31日

認定NPO法人日本高血圧協会
 The Japanese Association of Hypertension
 事務局：大阪府大阪市淀川区西宮原1-8-29
 ホームページ：<http://www.ketsuatsu.net/>
 連絡先：TEL：06-6350-4710
 FAX：06-6398-5746
 e-mail：office@ketsuatsu.net

認定NPO法人 日本高血圧協会理事長 荒川規矩男

高血圧協会の活動はこれからが本番

写真1

今年5月17日の高血圧の日には“正常血圧で心房細動を防ごう”と世界中でキャンペーンされました。心房細動は自覚症状が殆ど有りませんが、放置すると大変危険な不整脈で、その原因で一番多いのが高血圧だからです。皆さん、年1回は心電図でチェックされていますか？ 心房細動に限らず、高血圧は他にも多くの致命症（心筋梗塞・心不全・脳卒中・腎不全など）の原因になります。

その様な高血圧の怖さを一般国民に訴え、高血圧の予防と治療を促すための民間組織として、日本でも高血圧協会が2006年から活動してきました。特に高血圧の日には世界高血圧連盟に呼応して、全国的な運動を展開して来ましたが、今年は、新聞の全国版で高血圧の日をアピールし（図1）、また東京では有楽町駅前広場で血圧と脈波（動脈硬化度）の測定と並行して、心房細動などについての講演も行いました（写真1、2）。



写真2



高血圧の日以外にも年間を通じて、市民公開講座を各都道府県支部単位で開催しています（表1）。また、全国の大病院に減塩を率先垂範して貰う事を期待して、入院患者食の食塩含有量のアンケート調査を行っています。実際に2008年、2009年、2010年と、調査が進むにつれて高血圧特別食の食塩6g未満/日が33.1%、90.9%、90.4%と急速に普及定着しつつあり、一般食の食塩含有量も10g未満/日が85.7%、88.0%、94.7%と大部分の病院に普及して来ました。また協会は他の団体による啓発運動（例：2010年に発足した“塩を減らそうプロジェクト”）などの後援もしており、その効果は減塩関連記事数の急増にも現れてきました（図2）。

協会の歩みは一見、順調の様に見えるかも知れませんが、実は資金皆無の“任意団体”として出発したので、活動は苦難の連続でした。そこで先ず組織を“NPO法人”にし、次いで“認定NPO”を目指して遂に昨夏、念願を達成出来ました。“認定NPO”に対する寄付金（賛助会員費も寄付金と見做されます）には、国がその約半額を税金から控除してくれる特典が与えられます。これで運営上のネックがかなり解消される筈で、既にその効果は幾らか表れつつありますが、今後この軌道に乗って、協会はもっと自主的で効率的な活動が存分に実行出来る様になると期待しています。

これを機に、高血圧協会の定款も改訂され、私共古参の理事も新進気鋭の若手と交代することになりました。これまで協会の活動を支えて下さった皆様に心から厚くお礼を申し上げますと共に、今後の協会の活動が益々活発化し、それが即、国民の高血圧克服に繋がる事を期待して止みません。

図1

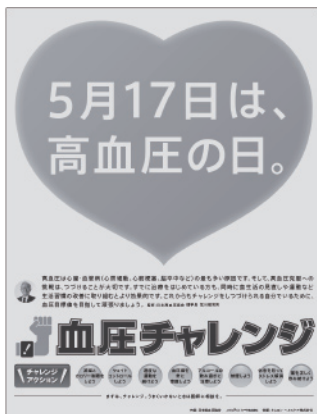
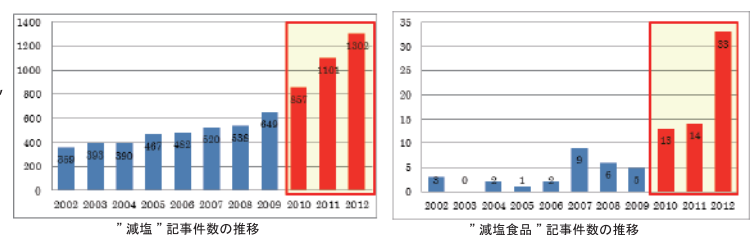


表1
市民公開講座 件数
(主催・共催・後援
の合計)

任意団体 日本高血圧協会		(~平成20年8月26日)	24
NPO法人	第1・2期	(平成20年8月27日~21年8月31日)	46
	第3期	(平成21年9月1日~22年8月31日)	38
	第4期	(平成22年9月1日~23年8月31日)	26
	第5期	(平成23年9月1日~24年8月31日)	34
	認定NPO法人 第6期	(平成24年9月1日~25年8月31日)	34

図2
日本における
“減塩”と“減塩食品”
の記事数の推移



塩を減らそうプロジェクト調べ：「日経テレコン21」を使用し、2002～2012年の新聞・雑誌の記事を検索した内部資料。未発表2013。

